

いわて生衛だより

編集・発行
(財)岩手県生活衛生
営業指導センター
電話 019(624)6642
FAX 019(654)2741

岩手県と災害支援協定を締結！



平成25年3月25日、岩手県生活衛生同業組合中央会（西部邦彦会長）と岩手県生活衛生営業指導センター（小暮信人理事長）は、岩手県（達増拓也知事）との間で、「大規模災害発生時における支援協定」を締結しました。

岩手県内において水害や地震、津波等により「大規模な災害が発生」したときに、住民に最も身近な私ども生活衛生営業者が、社会貢献活動の一環として、地域防災力向上のために取り組んできた行政機関との大規模災害発生時支援協定について、沿岸12市町村、そして盛岡市に続いて、このたび岩手県との間で協定を締結することができました。

協定の内容は、宿泊施設を避難場所として提供することや、食材の提供及び炊き出し、避難所のシーツ等のクリーニング、被災者への入浴サービス、映画館等を帰宅困難者に対して休憩場所として提供、帰宅困難者に対する水、トイレ提供、災害情報の提供などです。

今年度は、9月1日に久慈地域で行われる岩手県総合防災訓練にも初めて参加し、4市町村5カ所で炊き出し訓練を行なうこととしています。

日常訓練の段階から行政機関、関係団体や地域住民と連携し、住民に身近な生活衛生営業者として地域防災力向上に努めていくこととしています。

主 な 内 容

ごあいさつ.....	2
時の話題.....	2
春の叙勲.....	3
組合だより.....	3
すし業、中華料理、料理業、飲食業、食肉、理容、旅館ホテル	
県民くらしの安全課から.....	6

日本政策金融公庫国民生活事業から...	7
平成25年度指導センターの事業計画...	8
平成25年度岩手県生活衛生営業指導センターの役員名簿...	9
岩手県生活衛生営業経営特別相談員名簿...	9
厚生労働大臣から感謝状贈呈！.....	10
私たちの行う地域貢献活動！.....	10



ごあいさつ

岩手県環境生活部長

風 早 正 毅

生活衛生関係営業に従事されている皆様には、日頃から本県の生活衛生行政の推進に御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

また、東日本大震災津波からの復旧・復興に際しましては、各生活衛生同業組合が連携して実施した「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の活動を通し、多くの被災者の方々を癒すとともに、元気を取り戻すための大きな支えとなって頂いたこと、また、災害支援協定の締結により、社会貢献にも尽力されていることなど、深く敬意を表する次第であります。

県においても、昨年は、震災から復興を軌道に

乗せる「復興元年」として、海岸や復興道路の整備などの「安全確保」に取り組むとともに、被災者一人ひとりの想いを大切にしながら、一日も早い復興を目指し、「暮らしの再建」と「なりわいの再生」にも力を注いでまいりましたが、さらに今年を「復興加速年」と位置付け、未来につながる事業を積極的に展開しているところです。

安全・安心に係る県民の意識が益々高まる中、県民の日常生活に大変深いかかわりのあるサービスや商品の提供を行っておられる生活衛生営業に対する期待と役割は一層大きくなっていくものと考えておりますので、皆様のこれまで以上の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、生活衛生関係営業の発展と皆様の益々の御健勝を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。



時の話題

「あまちゃん」景気を大切に

中小企業診断士 宮 健

小袖海岸は交通規制

4月中旬と6月中旬に、久慈市に仕事で行く機会がありました。4月の時はまだ「あまちゃん」放映の効果がそれほど話題になっていませんでしたが、それでも大型連休中の交通渋滞対策が練られていました。市内のあちこちに、「土・日・祝日は小袖海岸へのマイカー乗り入れ禁止」の張り紙がありました。

NHKの朝ドラ「あまちゃん」の人氣が高まるにつれて、「北の海女」の舞台になった小袖海岸への観光客が多くなることは予想されたところでしたが、ただでさえ道幅のせまいところで、駐車場にも限りがありますから、とても成り行き任せとはいきません。

私は小袖海岸に何度か行っていますが、大震災後にも被災状況の視察に1度行ってきました。盛んに復旧工事が行われていましたが、その当時はまだ「あまちゃん」の話は出ていませんでした。津波の傷跡とともに、道幅のせまいことが妙に記

憶に残っています。

ホテルの朝食に「まめぶ汁」

4月の時は、夕方から夜にかけての仕事でしたので、久慈市内のホテルに宿泊しました。そして翌朝の朝食で、「まめぶ汁」を味わう好運に恵まれました。話には聞いていましたが、練り上げた小麦粉にくるまれた「くるみ」の風味が、口の中から全身に行きわたり、とても幸せな気分になることができました。

話を聞くと、もともとは久慈市山形町（旧山形村）の郷土料理だということです。「あまちゃん」ブームで、生産が追いつかないということです。いわば「手づくり団子」のようなものですから、生産できる量には限りがあります。

もちろんブームを呼んでいるのは、まめぶだけではありません。ホテル・旅館・飲食店も、タクシーも土産品も、押し掛ける観光客の恩恵を受けていることは確かです。大型連休中の「道の駅・やませ土風館」の入館者数が、前年同期のほぼ2倍だったという数字も発表されました。その波及効果は沿岸地域にも及んでいます。

残念ながら「あまちゃん」の放映は9月で終わります。それまでに、できるだけ売り上げを上げることと同時に、ブームが去った後のことも視野に入れなければなりません。

食肉組合 梅木宗雄 前理事長
旭日雙光章 受章おめでとうございます



この度、平成25年春の叙勲に際し旭日雙光章の榮に浴することが出来ました。これも皆様からのご支援とご鞭撻のお陰です。誠にありがとうございます。

去る5月1日岩手県知事公舎において、勲記・勲章の伝達を受け、同月10日に岩手県東京事務所に集合し、厚生労働省において大臣による伝達式式典に出席して参りました。

その後、皇居豊明殿に参内し配偶者同伴で天皇陛下の拝謁を頂いて参りました。

言葉には言い表せない感動と感激に緊張して参りました。

張りつめた空気の中、天皇陛下がお見えになり、今までの労いの言葉とこれからの激励のお言葉を賜りました。

国民として、最高の経験を致して参りました。

私の記憶では、この業界で過去に受章された方々は数人しか数える事が出来ません。

その一員として、この受章を重く受け止め、微力ではございますが食肉業界の発展に努力して参りたいと存じます。この度は誠にありがとうございました。

組合だより



意志を継ぐ者

まずもって、大清水多賀様、140年大変ごくろうさまでした。料理のジャンルは違えども同じ飲食業として、盛岡の社交界に多大なる貢献をされましたこと、岩手県すし組合として、お礼申し上げます。表の顔としての華やかさの反面、経営を維持継続する苦労は、すべての業界に共通して並々ならぬものがあり、明日は我が身だからです。

さて、NHKの朝ドラ「あまちゃん」が好評です。原因は多々あるでしょうが世の中は面白いも

ので、素材自体「海女」は以前からあるのに、それをどう扱うかによって（切り口や、考え方、調理法）、世間からの見られ方が変わってくるようです。

「うなぎ」が絶滅危惧種に、カウントされるか、どうかの時代です。

世界全体の生物約7万種の30%、約2万種が同じ絶滅にカウントされているようです。ところがそれとは逆に、数億年生き続けている種もあります。

すし組合の我々もこれに学び、対応して行かなければと思います。大清水多賀さんが終了しても、形を変えて志を継ぐ人が不思議に必ずあらわれます。食べることが、人生だから。



厚生労働大臣より感謝状

東日本大震災により甚大な被害を受けた被災者に対し、惜しみない支援を行った事で、岩手県中華料理組合に、厚生労働大臣より4月9日厚生労働省に於いて、坂理事長に感謝状が授与されました。この事は組合として大変名誉な事で組合の結束があって出来る事です。今後も組合として、被災者や被災組合員の支援を続けて参る所存ですので、関係各位並びに組合員の協力を宜しくお願い致します。



第101回全国料理業京都大会

5月14日(火)、京都ホテルオークラ「翠雲」において、「第101回 全国料理業京都大会～おこしやす京都一温故知新～」が開催されました。

京都で開催されるのは平成11年以来14年ぶりのことであり、伝統の料理とおもてなしの文化の本場である京都での大会ということで、参加者が300名を超える盛会となりました。

今大会では、当組合より蒔田和典氏が「厚生労働省健康局長表彰」、細川磐夫氏が「全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状」の表彰を受けました。

大会に先立って、13日には「美濃吉 竹茂楼」「萬亀楼」「瓢亭」「山ばな平八茶屋」「六盛」という名立たる料亭で前夜祭が行われ、京都ならではの伝統や文化に触れることができました。

日本食文化は世界無形文化遺産に登録申請を行っており、早ければ今秋にも登録の可否が決定します。また京都市は、外国の方が就労資格を得

て日本料理を修業できる特区としての認定を受ける見通しとのことです。

伝統と文化を守りながらまた新たな形で次世代へ引き継いでいく、料理業の今後を深く考えるよい機会となりました。



“第51回 全飲連全国宮崎県大会盛大に終える” 来年は6月11日 秋田県で開催

5月29日(水)宮崎県市民文化ホールで標記大会が開催されました。

「食材の宝庫と神話の里の宮崎へ」をテーマに宮崎県の組合員の熱烈な歓迎を受け、理事長以下14名が参加してまいりました。南国の宮崎らしく、全員が同じアロハシャツを着用。

会場はもとより、どこに行ってもこのシャツ姿と出会い親近感あふれる大会でした。

全国より約1200名の組合員が結集した大会は、組合組織の発展と業界の振興、組合員の経営安定を図るための契機にと、期待と希望を掲げて盛大に挙行されました。

大会のもう一つの楽しみは懇親会です。この時間帯は皆ますますパワーアップします。

宮崎の海の幸・山の幸を堪能し、夜の街を楽しみ視察勉強してまいりました。

岩手はまだ肌寒いのに宮崎は彩りも鮮やかな花々があふれています。立ち寄った先にはマンゴーが並び、あちらのマンゴー、こちらのマンゴー



と、マンゴーに惑わされた2日間でした。

表彰式では3名の方が受賞されました。

厚生労働省健康局長表彰

高橋正人(県副理事長・花巻支部)

(社)全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状

横田博安(県理事・山田支部)

全飲連会長表彰

藤井和幸(県理事・釜石支部)



被災地復興支援イベント開催

今年度の食肉組合は、日本中央競馬会の支援を受けて、被災地岩手県の畜産農家、食肉販売店及び被災地の生活者の支援をする目的で牛肉の無料試食会や肉製品の販売をするイベントを3回計画しております。

その第1回目を6月15日、16日に宮古市魚菜市場において太田屋肉店の協力を得て“6月旬の企画「肉まつり」”を開催しました。

会場では切り立ての「いわて和牛」を塩、胡椒で味付けした焼肉、約100kgを無料御振舞いをしました。試食した牛肉の焼肉用、すき焼用、ステーキが通常価格の3割から5割も安く販売され、また、「いわちく」からも協賛いただきハム製品が大特価で販売され、魚菜市場を利用する被災地の方々や県内外からの観光客の方々に大変好評でした。

私たち組合及び食肉店は、被災地商店街復興に共に汗を流し被災地の皆さんが笑顔になるよう今後とも応援していきます。



復興支援チャリティーイベント 盛大に開催！

平成25年6月17(月)、岩手県理容会館に於いて

県教育部主催による「復興支援チャリティーイベント」が開催されました。

イベントは会館3Fでヘアショーが行われ、オープニングは技能五輪金メダリストの佐々木太一君によるデモンストレーション、続いて瀬川久和講師・湊樹理講師・山田健一講師というこれからの業界をリードして行く若手ホープの先生方がその華麗なテクニックを披露し、会場を魅了しました。そして大トリは、我が岩手の歴史を彩る



湊正美理事長、鈴木久明副理事長、佐藤三男県教育部長さらには髪屋一美盛岡支部教育部長と、もうこれ以上ないくらいの豪華な顔ぶれが磨き上げたベテランのカット技術やアイロン技術を競い、素晴らしいひと時を過ごさせてくれました。また、2F事業販売ブースではディーさんやメーカーさんが様々な商品を展示販売。いつもよりの大出血サービスで大賑わい。1Fタカラショールームでは各支部教育部長・県講師会など総勢8名がマッサージやシャンプーの体験コーナーを担当。ショルダーやヘッドマッサージ・バックシャンプーに汗を流して頑張ってくれました。さらに、2F事務室には「じえじえじえcafé」がオープン。県事務員の菊池さん、坂下さんと盛岡支部の事務員大森さんがウェイトレスになり、飲み物や軽食を提供しイベントを側面からサポート。そして、何と言っても一番盛り上がったのは締めくくりに行われた大抽選会です。たくさんの景品が次々と当たるたびに大歓声が沸き、会場のボルテージは最高潮へ。こうしてプログラムの全てが終わり、無事盛会のうちに閉会となりました。チケット代を含む、本日の益金は今後の復興支援事業に活用して行く事になっています。

イベントに携わった実行委員の皆さんお疲れさまでした。そして会場に足を運んで下さった皆さま、本当にありがとうございました。



全旅連 全国大会 in やまなし開催

全旅連の第91回全国大会が6月12日、山梨県甲府市にて全国から組合員、業界関係者、来賓など1000名が参集して盛大に開催されました。

大会は「おもてなし やまなし」のテーマのもと、人に優しい安心安全な宿づくりに専念し、また、東日本大震災での経験をもとに、災害に強い宿づくりを目指し、二次避難所として被災者の受け入れにも取り組んでいくという大会宣言と「業界の組織強化と経営の安定を図るため、これが速やかなる実現を期す」とする11項目にわたる決議を採択。そして、次年度の開催地となる宮城県組合の歓迎挨拶後、「全旅連バンザイの力強い万歳三唱」をもって式典は閉会となりました。

その後の大懇親会では、組合員や地域間の交流

を通じて団結を強めながら第91回全国大会は盛会裏に終了しました。

なお、式典の表彰式における岩手県組合の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

全国中央会理事長感謝状

稲垣 智雄 (一関支部)

全旅連会長表彰

菊池 達哉 (奥州支部)

第16回「人に優しい地域の宿づくり賞」

努力賞 花巻温泉郷観光推進協議会

栄えある受賞おめでとうございます。



県民くらしの安全課から

県では、被災された方の、各種手続きの手数料について、今年度も引き続き免除します。

免除する主な手数料(環境生活部県民くらしの安全課関係)は次のとおりです。

免除期間は、平成26年3月31日までです。

手 数 料 の 名 称	対 象 者	必 要 書 類
食品営業許可申請手数料	震災により被災された方 震災により失業された方	り災証明書等
公衆浴場・旅館業・興行場営業許可申請手数料		
旅館業営業承継申請手数料		
理容所・美容所・クリーニング所開設検査手数料		
製菓衛生師免許証再交付手数料	震災により免許等が流失したことにより再交付が必要な方	
調理師免許証再交付手数料		
クリーニング師免許証再交付手数料		

今年度の生活衛生関係営業の担当は以下のとおりです。

県民くらしの安全課

小向総括課長

生活衛生担当 (TEL 019-629-5360、FAX 019-629-5279)

工藤生活衛生担当課長、熊谷主任主査、工藤主査、木村技師、川村技師、高橋主事

日本政策金融公庫 国民生活事業から

組合員のみなさまへ融資制度のご案内（利率は平成25年6月12日現在）

1 東日本大震災復興特別貸付

ご利用 いただける方	被災地（注1）内に事務所を有し、事業活動を行う方であって、次のいずれかに該当する方 ①震災により直接被害を受けた方 ②原発事故に係る警戒区域等（注2）内に事業所を有する方	間接被害を受けた方であって、被災地（注1）内に事務所を有し、事業活動を行う方（左記対象者の方と一定以上の取引がある方）	その他震災の影響により、売上等が減少している方であって、被災地（注1）内に事務所を有し、事業活動を行う方（風評被害等による影響を含む）
ご融資限度額	6,000万円（上乗せ）		5,700万円
ご返済期間（注3）	運転資金15年以内 設備資金20年以内	運転資金・設備資金15年以内	運転資金8年以内
据置期間（注3）	5年以内	3年以内	3年以内
利率（年利） （注3）	被害証明書等の発行を受けられた場合 【融資後3年間】 （3,000万円まで） 基準利率から1.4%引下げ（注4） （3,000万円超） 基準利率から0.5%引下げ（注4） 【4年目以降】 基準利率から0.5%引下げ（注4）	被害証明書等の発行を受けられた場合 【融資後3年間】 （3,000万円まで） 基準利率から0.9～1.4%引下げ（注4）（注5） （3,000万円超） 基準利率から0.2～0.5%引下げ可能（注4）（注5） 【4年目以降】 基準利率から0.2～0.5%引下げ可能（注4）（注5）	基準利率から0.2～0.5%引下げ可能（注5）

（注1）東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律（平成23年5月2日法律第40号）第2条第3項に定める特定被災区域（岩手、宮城、福島）の3県は全域。青森、茨城、栃木、埼玉、千葉、新潟、長野の7県は一部をいいます。

（注2）警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域をいいます。

（注3）適用する融資制度に定める融資条件が「東日本大震災復興特別貸付」に掲げる条件より有利となる場合は当該融資条件が適用されます。

（注4）振興事業促進支援融資制度を適用した場合は、さらに利率が0.15%引下げとなります（振興特利設備・振興運転に限りません）。

（注5）雇用の維持・拡大を要件に0.2%引下げ、売上高等の減少を要件に0.3%引下げ、いずれの要件も満たす場合は、0.5%引下げとなります。

2 振興事業貸付

ご利用 いただける方	振興計画認定組合の組合員（生活衛生同業組合の長による「振興事業に係る資金証明書」が必要です。）	
お使用 みち	設備資金	運転資金
ご融資額	1億5,000万円以内～ 7億2,000万円以内 （業種によって異なります。）	5,700万円以内
ご返済期間	18年以内 （特別な場合20年以内）	5年以内 （特に必要な場合7年以内）
据置期間	2年以内	6ヶ月以内 （特に必要な場合1年以内）
利率（年利） （注）	【特利B】0.80%～3.35% 【特利C】0.60%～3.10% 【基準利率】1.45%～4.00%	【基準利率】 1.45%～3.80%

（注）「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」を策定し、生活衛生同業組合から一定の会計書類を準備していることの確認及び事業計画の確認を受けた場合は、利率が0.15%引下げとなります（振興特利設備・振興運転に限りません）。

【各融資制度ご利用時の留意点】

※振興事業貸付を基準利率より低い利率でご利用後に、所属する生活衛生同業組合を脱退された場合、基準利率に引上げとなることがあります。

※ご返済期間またはお使用みちなどによって利率が異なります。

※利率は金融情勢によって変動いたしますので、お借入金利（固定）は、記載されている利率とは異なる場合がございます。

※審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

3 設備資金貸付利率特例制度

ご利用 いただける方	各融資制度で設備資金をご利用される方であって、被災地（注）内で雇用の維持または拡大を伴う設備投資を行う方
利率（年利）	各融資制度に定める利率から0.5%引下げ
取扱期間	平成26年3月31日まで

（注）東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律（平成23年5月2日法律第40号）第2条第3項に定める特定被災区域（岩手、宮城、福島）の3県は全域。青森、茨城、栃木、埼玉、千葉、新潟、長野の7県は一部をいいます。

《お問い合わせは》

日本政策金融公庫 国民生活事業

盛岡支店 019-623-4376

一関支店 0191-23-4157

八戸支店 0178-22-6274

平成25年度指導センターの事業計画

3月25日(月)に開催された指導センター理事会において、平成25年度事業計画と予算が決定されました。

本年度も、県、各生活衛生同業組合及び(株)日本政策金融公庫と密接な連携を図り、生衛業の経営の安定化、健全化及び振興を通じて、その衛生水準維持向上、併せて東日本大震災で被災された事業者支援や復興支援事業等に取り組んで参ります。

1 県からの委託事業

- (1) 広報紙発行事業……「いわて生衛だより」を年2回発行します。
- (2) 知事推薦書交付事業……生衛融資(一般貸付)に係る知事推薦書交付事務を行います。
- (3) 経営特別相談員養成講習会事業……講習会を開催し養成に取り組みます(7月8日実施済)。
- (4) 東日本大震災における営業状況調査事業……被災地及び被災営業者の状況把握を行います。

2 全国生活衛生営業指導センターからの委託事業等

- (1) 経営特別相談員研修会の開催……11月11日(月)、9時30分から盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催します。
- (2) 東日本大震災復興支援事業……被災地における生衛業者の復興支援、被災地の再生支援に取り組みます。
 - ① 被災生衛業者経営課題把握事業の実施
 - ② 被災地での生活衛生同業組合連絡協議会開催事業の実施
 - ③ 被災地域生衛業者マップの作成
 - ④ 地域生衛業者と地域被災住民の交流事業の実施
- (3) 標準営業約款の登録普及促進事業……新規登録・再登録の審査等に関する事務、登録促進月間における普及啓発、各組合で実施する営業約款を普及させる講習会の支援を行います。
- (4) クリーニング師研修会等の事業……クリーニング師研修、業務従事者講習ともに次のとおり開催予定です。

	開催年月日	会 場 名	所 在 地	予定人数
1	平成25年9月8日(日)	宮古地区合同庁舎	宮古市五月町1-20	50人
2	平成25年10月20日(日)	岩手県奥州保健所	奥州市水沢区大手町5-5	80人
3	平成25年11月17日(日)	岩手県美容会館	盛岡市志家町3-13	120人

- (5) 経営動向等調査事業
 - ① 景気動向等アンケート調査……年4回の調査にご協力をお願いします。
 - ② 経営状況調査……年3回の調査にご協力をお願いします。

3 相談・指導・調整等の事業

- (1) 相談指導事業
 - ① 相談室設置……経営指導員3名で対応します。
また、地域の実情に応じた相談指導を行うため、地区生活衛生同業組合連絡協議会等の場を活用し、出前相談事業を行います。
 - ② 生活衛生関係営業経営改善資金指導事業
融資合同審査会……毎月第3水曜日に開催し、融資協議案件を審査します。
- (2) 後継者育成支援事業……若年者の生衛業に対する就業を促進し、後継者の育成・確保を図ることを目的として出前体験学習を実施します。
- (3) 健康・福祉対策推進事業……保健所等の協力を得て、食中毒予防や食の安全・安心、感染症拡大防止対策等の普及啓発を行い、生衛業者の衛生水準の維持向上を図ります。
また、自殺防止の取組である「ゲートキーパー養成研修」等を実施します。
- (4) 消費者コールセンター等事業……消費者から寄せられる苦情等は、迅速、的確な処理に努めます。

4 第25回岩手県生活衛生大会の開催

- (1) 期 日 平成25年11月11日(月)、14時30分から18時まで
- (2) 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
- (3) 大会次第
 - ① 第1部基調報告 14:35~15:00
 - ② 第2部表彰式 15:05~16:00
 - ③ 第3部祝賀会 16:20~18:00

5 災害支援協定の締結事業

昨年度締結した県や市町村との締結内容協議や岩手県総合防災訓練への参加、組合員への周知を重点として取り組みます。

6 公益財団法人への移行……平成26年4月1日からの移行予定です。

平成25年度「岩手県生活衛生営業指導センター」の役員は次の通りです

役職名	氏 名	所 属 等	役職名	氏 名	所 属 等
理 事 長	小暮 信人	興行生活衛生同業組合理事長	理 事	湊 正美	理容生活衛生同業組合理事長
副理事長	伊藤 重治	すし業生活衛生同業組合理事長	〃	稲川 善昭	美容業生活衛生同業組合理事長
〃	古澤 淳	クリーニング生活衛生同業組合理事長	〃	澤田 克司	旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
専務理事	下屋敷正樹	生活衛生営業指導センター	〃	山屋 隆	公衆浴場業生活衛生同業組合理事長
理 事	坂 忠昭	中華料理生活衛生同業組合理事長	〃	藤村 耕人	中 小 企 業 団 体 中 央 会
〃	西部 邦彦	社交事業生活衛生同業組合理事長	〃	尾形 盛幸	生活衛生営業指導センター
〃	細川 正二	料理業生活衛生同業組合理事長	監 事	葛 勇樹	飲食業生活衛生同業組合副理事長
〃	小笠原義彦	飲食業生活衛生同業組合理事長	〃	村田 一夫	理容生活衛生同業組合理事
〃	米内 正己	食肉生活衛生同業組合理事長			

岩手県生活衛生営業経営特別相談員(平成25年8月1日現在)

業 種	氏 名	住 所
【すし業】 (5名)	山 下 好 昭	北上市
	吉 津 賢次郎	盛岡市
	中 瀬 英 典	一戸町
	小松代 篤	平泉町
	高 橋 剛 一	盛岡市
【中華料理】 (12名)	佐々木 六兵衛	一関市千厩町
	竹 澤 清	盛岡市
	川 口 充	盛岡市
	池 田 恭 也	釜石市
	鈴 木 滋	大船渡市
	大 杉 繁 雄	山田町
	石曾根 長 福	宮古市
	伊 藤 隆 志	奥州市水沢区
	菊 池 幸 郎	一関市大東町
	小 澤 良 幸	花巻市
	東 山 武 志	盛岡市
	多 田 伸 司	北上市
【社交事業】 (2名)	中 田 盛 樹	盛岡市
	佐々木 康 光	盛岡市
【料理業】 (4名)	岩 館 政 明	盛岡市
	鈴 木 勇	盛岡市
	川 口 俊 吾	盛岡市
【飲食業】 (11名)	大 村 由里子	盛岡市
	足 立 徳 朗	大船渡市
	大 宮 清 一	久慈市
	小笠原 ひとみ	久慈市
	葛 勇 樹	盛岡市
	藤 原 和 広	盛岡市
	藤 井 和 幸	釜石市
	佐々木 浩	陸前高田市
	横 田 博 安	盛岡市
	蝦 名 紹 功	盛岡市
	新 沼 崇 久	大船渡市
	小笠原 和 也	矢巾町
【食肉】 (3名)	胡 口 穰	大船渡市
	高 橋 真智子	盛岡市
	渡 辺 修 司	紫波町

業 種	氏 名	住 所
【理容】 (20名)	川 村 俊 夫	花巻市
	関 正 明	盛岡市
	菊 池 靖 志	遠野市
	佐々木 俊 夫	大船渡市
	向 井 雄 一	二戸市
	鈴 木 康 夫	奥州市水沢区
	秋 篠 京 子	盛岡市
	糠 盛 真 一	山田町
	菊 池 葉 子	盛岡市
	坂 下 里 美	盛岡市
	鹿 糠 敏 満	久慈市
	黒 田 豊	宮古市
	佐 藤 憲 弘	釜石市
	坂 本 弘 幸	滝沢村
	細 川 砂百合	花巻市
	佐 藤 洋 一	一関市花泉町
	千 葉 幸 子	一関市
	細 川 由香里	平泉町
	高 橋 竜	一関市
	小野寺 宏 行	一関市大東町
【美容業】 (9名)	築 田 栄 子	盛岡市
	佐々木 靖	盛岡市
	上 山 カツ子	盛岡市
	沖 田 ゆかり	矢巾町
	卓 地 明 美	一関市
	村 井 敏 子	盛岡市
	照 井 孝 子	花巻市
	佐々木 ミ エ	遠野市
	府 金 ユキ子	岩手町
【興行】 (3名)	高 橋 利 男	盛岡市
	中 西 栄 三	盛岡市
	幾 田 和 実	盛岡市
【旅館ホテル】 (3名)	桑 畑 博	久慈市
	田 鎖 壽 夫	盛岡市
	鳥 居 隆 一	盛岡市
【クリーニング】 (4名)	樋 澤 律 子	盛岡市
	工 藤 喜代治	二戸市
	佐 藤 勝 義	北上市
	新 沼 重 男	大船渡市

計76名

厚生労働大臣から感謝状贈呈！

東日本大震災により被害を受けた被災者に対する惜しめない支援等の功績が認められ、県内7生活衛生同業組合が平成25年3月11日に厚生労働大臣から感謝状が贈呈されました。

受賞団体

- ・岩手県すし業生活衛生同業組合
- ・岩手県中華料理生活衛生同業組合
- ・岩手県社交事業生活衛生同業組合
- ・岩手県理容生活衛生同業組合
- ・岩手県美容業生活衛生同業組合
- ・岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・岩手県クリーニング生活衛生同業組合



私たちの行う地域貢献活動！

指導センターでは、各生活衛生同業組合を通じて皆様に、「災害支援協定参加のお店です！」ステッカーを配布しております。

私たちができる社会貢献活動と一緒に参加できる方、ステッカーを店頭等に掲示できる方は、当指導センターまでご連絡ください。



災害支援協定参加のお店です！掲示のお店を見かけました。

災害支援協定 参加のお店です！



災害情報・水・トイレ 提供します

岩手県生活衛生営業指導センター
岩手県生活衛生同業組合中央会
岩手県生活衛生同業組合